

40周年企画を考える

New chat

今日
40周年企画アイデア



とある編集部員

こんにちは、本誌「らいつすてーじ」でちょくちょく記事書かせてもらってます、しが
ない編集部員です。表紙にもありますが、1984年に「らいつすてーじ」として発行開始
した本誌は2024年で40周年を迎えます。それに際して、40周年企画をいくつか考えたい
なと思っていますいろいろ皆で考えたんですが、会議は踊る、されど進まず。全く案は出
ませんでした。ということで、ここ1年ほど話題となったChatGPTに周年企画を考えて
もらいます。早速、ChatGPTさん、何か案はありませんか？



ChatGPT

こんにちは、「らいつすてーじ」の編集部員の皆さん、そしておめでとうございます！
40周年の節目を迎えるということで、素晴らしい企画を考えるのは楽しいですね。以下
にいくつかのアイデアを提案させていただきます：

- 40年の歴史を振り返る特集**：過去の記事や表紙、編集部員や読者からの思い出などを振
り返る特集を組むことができます。これによって、読者に「らいつすてーじ」の歴史を
振り返ってもらい、同時に未来を見据えることもできます。
- 読者参加型企画**：読者からの投稿やアイデアを募集し、それを元に特別な企画やコンテ
ンツを作成するというのも良いアイデアです。読者と一緒に40周年を祝うことで、コミュ
ニティ感を高めることができます。
- 未来への展望**：40周年という節目を迎えることで、「らいつすてーじ」がこれまでどの
ように成長してきたのか、そして将来どのように進化していくのかについての展望を掲
載する特集を組むことも考えられます。技術の進化や社会の変化に即した内容を盛り込
むことで、読者に新たな視点を提供できます。
- 記念イベントの開催**：40周年を記念して特別なイベントを開催することも考えられま
す。読者や関係者と交流する場を設けることで、コミュニティを深めることができま
すし、編集部と読者との距離も近づけることができます。

以上のアイデアが参考になれば幸いです。是非、素晴らしい40周年企画を実現されるこ
とを願っています！



とある編集部員

おっ！ 案1は、らいつすてーじ40年の歴史を振り返る記事としてよさそうですね！
過去の記事を見ながら歴史を追ってみるのは楽しそう。案2は本誌最後のページにある
十人十色の応用できそうですね。案3はまさにこの記事。最新の研究は京都大学でも

とある編集部員

New chat

今日
40周年企画アイデア



ChatGPT

素敵なアイデアですね！ 数字「40」にちなんだユニークな企画を考えてみましょう。

- 40の質問**：「らいつすてーじ」の40年の歴史やテーマに関連するトピックについて、40
の質問を集めます。これには過去の記事やテーマ、編集部員の思い出などを網羅し、読
者により深く理解してもらうことができます。
- 40の名言**：過去40年間に「らいつすてーじ」の記事やインタビューで登場した興味深い
名言や名文を集めます。それぞれの名言について、その背景や意味、そして現代におけ
る重要性について解説します。
- 40のチャレンジ**：40周年を記念して、40のチャレンジを設定します。これには、読者や
編集部員が挑戦できる様々な課題やテーマが含まれます。例えば、40日間で40の異なる
場所を訪れる、40の本を読破する、などのチャレンジが考えられます。
- 40の未来予想**：「らいつすてーじ」がこれまでに掲載してきたテーマやトピックについて、
未来の40年間でどのように進化するかについて予想する特集を組みます。これには、技
術の進歩や社会の変化、環境問題などが含まれます。

これらのアイデアは、数字「40」をユニークな視点から活用し、興味深いコンテンツを
提供することができるでしょう。是非参考にしてみてください！



とある編集部員

どれもいい案ですね、特に案3のような面白い記事案をもっと教えてほしいです。



ChatGPT

素敵です！ では、もう少し面白いおかしいアイデアを提案しますね。

- 40の挑戦 不可能なことに挑戦!**：40周年を記念して、編集部員に不可能と思われるよ
うなチャレンジに挑戦してもらいます。これには、チャレンジの様子を撮影した写真や
動画を添え、笑いと感動を読者に提供します。
- 40の食べ物を食べ尽くす**：40日間で40の異なる国の料理を食べる、または同じ料理を40
日間連続で食べるなど、食に関するユニークなチャレンジを設定します。読者が挑戦し
やすいように、地域や料理のバリエーションを考慮してセレクトします。
- 40秒間の挑戦**：編集部員や読者に、40秒間で何かを成し遂げるというユニークな挑戦を
持ちかけます。例えば、40秒でできるだけ多くの「らいつすてーじ」関連の言葉を言う、
または40秒間でできるだけ多くの読者の質問に答えるなどの面白い挑戦です。



ChatGPT

これらのアイデアは、読者が笑顔になれるようなユニークな企画を提供することができるでしょう。ぜひ参考にしてください！



とある編集部員

うんうん、どれも今まであまりしてこなかったようなユニークな記事ができそうです。ここからインスピレーションを得て、「挑戦！ 40秒間・40分間・40時間で〇〇！」をやってみようと思うのですが具体的にどんな挑戦をするのがよいのでしょうか？



ChatGPT

素晴らしいですね！ 記事にするためのユニークな挑戦を考えてみましょう。

・**挑戦！ 40時間で言語を習得する！**
参加者は40時間の間に新しい言語を習得する挑戦に取り組みます。これにはオンラインの言語学習プラットフォームやアプリを活用することができます。40時間後には、簡単な会話や文章を翻訳し、その成果を記事にまとめます。

・**挑戦！ 40時間でできるだけ多くの京都のお寺を訪れる！**
編集部員が40時間かけて、できるだけ多くの京都のお寺を訪れる挑戦です。京都には数多くのお寺がありますが、40時間の間にどれだけ多くのお寺を訪れることができるかを競います。笑いを交えながら挑戦することができます。

・**挑戦！ 40日間毎日同じ料理を食べる！**
編集部員が40日間毎日同じ料理を食べることができるか挑戦します。料理というのは例えばラーメンのように種類を指し示しており、日記形式で挑戦を振り返ることで記事にします。

これらの挑戦は、編集部員が取り組むことで笑いと創造性を提供し、読者に楽しみを提供することができます。参加者が面白いアイデアを出し合いながら挑戦に取り組むことが楽しいでしょう。



とある編集部員

なるほど！どれもやってみたくなるような面白い記事案ばかりですね!!ここだけの話、年8回の発行のうち毎号やっていく周年記事であることを考えると、挑戦&記事制作がそこまでしんどくなくさそうに思えるのもよい点ですね(笑)

ChatGPT にメッセージを送る...

Memo

注：以下は編集部員がもはやメモでいいやと思ってまとめた今後の記事予定

1984年に創刊 ということは 2024年で40周年！

→なら、40周年記事案を考えよう!!

Chat GPTに考えてもらった案 (採用候補)

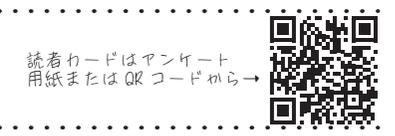
1. 40年の歴史を振り返る特集

・5月号「in 1984」40年前の京都を振り返る

2. 読者参加型企画

・11月号「超々鱗祭り」読者の皆様のおすすめの本やアルバムを特集

読者ワードで皆さんのおすすめを募集中!!



3. 40に関するチャレンジ

・未定号「40km徒歩チャレンジ」京大と東大寺(約40km)徒歩

・未定号「40時間de資格取得」

・未定号「40箇所御朱印めぐり」

毎月、掲載予定
お楽しみに!!